

1 開会【青木教頭】

2 会長挨拶【若園会長】

今大学でも高校でも新入生を募集する時期となっている。本日も皆様からより良い意見を頂戴して、良い会議となることを願っている。

3 校長挨拶【小島校長】

第2回から期間が少し空いたが、その間様々な学校活動が行われた。本校の伝統行事である強歩大会は形を変えて、那珂川町の名勝である御前岩まで歩いて行ってきた。なかなか地元の名所を見る機会がないので貴重な体験となり、楽しそうな生徒の様子を見ることができた。

進路については詳細は資料を参照されたい。馬頭高校始まって以来最も生徒数の少ない学年であったが、進学も就職も生徒の希望が実現できた。

学校外のことは、玄関で胡蝶蘭をご覧いただいたと思うが、水産科が「栃木県イメージアップ貢献賞」を受賞することができ、お花はそのお祝いとして頂戴した。水産科では関東東海地区の生徒研究発表大会で断トツの最優秀賞となり、全国大会に臨んだ。残念ながら奨励賞となったが、海洋を舞台とした全国の水産高校に渡り合うため、今後より一層創意工夫を重ねていきたい。

普通科においては、「なかテレビ」で地域の連携についてはたくさん報道していただいた。夏に栃木県内の高校生が集まる「ふれあい高校生の集い」というイベントがあり、生徒会長と副会長がシンポジウムのコーディネーターを見事に務めた。

部活動ではレスリング部が全国大会に出場を果たし、最新の大会では16位となった。アーチェリー部は来年度関東大会を視野に入れて頑張っている。

最後に高校入試の状況だが、先日の特色選抜で両学科とも1倍を超えた出願をいただいた。普通科10名、水産科8名の合格内定を出したので報告させていただく。一般選抜は6日となる。たくさんの方の志願者を期待したい。

委員の皆様の中で二年の任期を迎えられた方、役職交代される方においては、会議の場としては今回が最後になる。1年目の皆様には次年度もお世話になることになる。今年度ご協力をいただき、深謝申し上げますとともに今後とも本校を支援していただくようお願いさせていただき、あいさつとさせていただきます。

4 議事（進行：若園会長）

（1）前回議事報告書について

若園議長：○資料27ページ以降に前回の議事録があるので、ご覧になって、ご意見は事務局までお知らせいただきたい。

（2）令和7年度栃木県立馬頭高等学校学校経営方針（案）について

校長：○皆様のおかげで現状順調に進んでおり、来年度の教育経営方針についても令和6年度をベースに立案した。細部については記載しきれていないところがあるものの全体的に総論としてまとめさせていただいた。

○Ⅰ～Ⅳまでは、スクールミッション、スクールポリシーということで、県立高校として新たに公表したもので、今後とも継続していく内容である。これをもとにⅤに留意点をまとめた。

○Ⅴ学校経営上の留意点

Ⅰ 校務運営全般について

- ・（1）のとちぎ教育ビジョンに基づき、（2）の教職員に関する方針のもと（3）本校普通科水産科共通のキャッチフレーズ「これまでよりもこれからを！馬頭高校はこれからを大切にします」として決定し、教育活動を展開していく。

- ・（4）および（5）は生徒が「馬頭高校で学んでよかった」と思える教育活動を展開

するように（６）および（７）に示す教員間連携や事故防止に努めていきたい。

2 学習支援

- ・高校においても観点別評価を行っている。
- ・水産科の学習や「那珂川学」だけでなく、すべての教科や学習活動に主体的対話的で深い学びを実践したい。

3 生徒支援

- ・（１）～（６）まで本校にとってすべて重要なもので、順番を付けられないものであるが、生徒一人一人への支援、通級による指導を（２）および（３）に取り入れた。

4 進路支援

- ・３年間を見通して、進路部を中心とした指導により生徒が自己実現に向けてキャリア教育に取り組んでいるので継続して行っていきたい。

5 健康指導

- ・流行性疾患の感染は他校では各種閉鎖が生じていた中、罹患者は出たものの大きな感染が見られなかったため、保護者の理解も得て、生徒の健康や安全への意識の高まりを感じている。

6 地域連携

- ・本校教育にとって重要な内容として（１）と（２）の２点に集約した。

7 広報活動

- ・新たに項立てをして、２点に集約した。

8 働き方改革

- ・教員が健康でなければよりよい教育活動が実践できないことからライフワークバランスを取り入れた。

○以上、８点にまとめさせていただいたが、このような方針で進めていきたいと考える。ご意見等あれば、いただきたい。

【質疑】

若園議長：「新しい取り組みはどのようなものがあるか」

校長：「新たに加えたものは〔校務運営全般〕の項の本校のキャッチフレーズについてだが、それ以外については、項立てを入れ替えた点がいくつかあった。」

若園議長：「学習における３観点評価については昨年度から取り入れられていたのか」

校長：「今年度から項立てを上位にした。単純に５段階評価を行うのではなく、多面的に評価していくことの重要性が強調されている。」

吉成副会長：「令和７年度の何か変更点として特筆すべきことはあるか。あればそれに対してどのような対応をするのか。重点項目について挙げていただきたい。また、教育課程はどのようなものになるか。」

校長：「来年度も学級減が決定している。継続的に教育活動を行うための、教員の組織改革を行っていきたい。行事の削減など教育活動を減退させないようにしたいと考えている。〔３生徒支援〕の第１項に挙げたように、生徒の自己肯定感や自己有用感を高めたい。そのためにも地域の方のご協力ご支援を賜りたい。現状の教育課程は変えずにいきたい。普通科では選択科目の「農業」が非常に印象深いと思われるが、それと同時に並行に商業科や家庭科など様々な教科科目の選択科目を学ぶことができる。現在のところ、現状を維持しながら教育課程を編成していく。」

吉成副会長：「クラス減ということは教員数の削減ということになり、生徒への教育活動が減退されるのではないかと不安があったが、校長先生のお話を伺って一安心した。」

若園議長：「この件については、来年度の方針ということで、来年度の運営協議会で審議されることになるので、この場では確認ということでよろしいかと考える。」

（３）中学校訪問（後期）について

馬籠主幹：「本校では中学校訪問年２回行うようになって２年目となる。後期訪問は昨年度から１か月ほど早めた実施とし、９月２７日～１０月２２日までの期間において、校長、教頭、主幹教諭、教務主任の４名で計２校実施した。早めた理由は中学生を対象とした第１回進路希望調査の前に実施するため。実際に他の高校よりも早く実施できていたようだ。印象としては本校について好意的にとらえていただいている中学校が多いと感じた。先日実施した特色選抜では両学科とも１倍を超える出願をいただいたが、一般選抜が今後行われるので、それまでに可能な限りのPRを行っていききたい。」

若園議長：「対象の中学校は新規の学校はあるのか。」

馬籠主幹：「宇都宮地区で新たに一日体験学習に参加してくれた学校を対象に広げた」

吉成副会長：「生徒に直接話をできた学校はあったか」

馬籠主幹：「馬頭中学校と小川中学校は主幹と教務主任で直接学校に伺い、保護者生徒の前で紹介を行うことができた。また、宇都宮市マロニエプラザにて、下野新聞社主催の学校説明会に参加し、直接PRすることができた。」

若園議長：「一日体験学習時は在校生と中学生が接触することができたのか」

馬籠主幹：「生徒が係として中学生と接することができた」

若園議長：「引率することが困難かもしれないが、大学などと同様、中学校訪問を卒業生と一緒に行うことができれば、効果は大きいのかかもしれない。」

益子委員：「親の立場だと通える範囲かどうかが真っ先に考えることだ」

馬籠主幹：「訪問の際に通学経路についての話をしている。また、那珂川町から通学費補助金を頂戴していることにも触れている。」

（４）地域連携活動一覧について

馬籠主幹：「地域連携活動をそれぞれの活動ごとに６つの分野に分けて取りまとめた。特徴的な新規の取り組みとしては農業において本校卒業生にご来校いただき、講師となってそば打ち体験教室を実施いただいた。広報[なかがわ]の表紙にも採用していただいた。水産科においては小学校への出前授業、１・２年生については事業所訪問、インターンシップも含め、各機関・事業所に大変ご協力とご支援を頂戴した。那珂川学においてはエコグリーンとちぎの見学も初めての試みであった。ボランティア部・アウトドアライフ部については町のイベントに多数参加させていただいた。来年度も地域とともにある学校として様々な活動を行っていききたいのでご支援ご協力をお願いしたい。」

益子委員：「３年生になると活動はどのようなになるのか」

馬籠主幹：「進路研究が中心となる。」

若園議長：「３年生は原則としてどちらの学校でも進路に集中することが通例だろうが、ボランティアなどの個人で参加できる活動の情報を示してあげるとよいのでは。」

県教委：「地域おこし協力隊の石川さんのコーディネーターとしての役割はどのような関わりか？また、ボランティア部やアウトドアライフ部の活動は先生方も関わっているのか。」

馬籠主幹：「石川さんには那珂川学において各事業所や行事の仲介をしていただいている。特に１年生の学校外での行事には、すべて同行していただいている。」

若園議長：「前回の協議の中で、那珂川学のホームページでの充実についての指摘があったと思うが。」

馬籠主幹：「その後改善し、特集頁をより人目を引くようにアップすることができた。ぜひご覧いただきたい。」

(5) 地域連携活動発表会

馬籠主幹：「今年度は新たに、地域おこし協力隊石川さんより活動報告をいただくこととなっている。可能な方はぜひともお越しいただきたい。特に今回は第4回の運営協議会を兼ねているので可能な限りご臨席いただきたい。」

5 本年度の進路状況について

藤田進路指導部長：「第2回に引き続き、その後2月5日時点までの進路状況を掲載している。近日、男子未決定者1名が就職内定したので、1名分修正となる。未決定者2名についても就職活動を行っており、1名は2月末に結果が出ることになっている。もう1名は職場体験をすることが決まっており、現時点で未決定者の中で就職活動を行っていないものはいない状況である。概略を述べると、就職62%進学32%となり、昨年度がほぼ50%ずつだったことから、本年度は就職者がかなり増えた割合となっている。進学は4年制大学がなし、短大が1名、その他は専門学校であった。就職に関しては、那珂川町・那須烏山市・さくら市の地元市町に就職した割合が74%になる。いずれの生徒も自宅から通うということで、地元定着率の高さが目立っている。スクールミッションにある“地元を支える人材の育成”を結果で証明していることになっている。学校として地元就職するような意図的な指導をしてきたわけではないが、地域事業所様のご協力のもと1年次から企業訪問を重ねてきたことや地元事業所様に進路説明会等でご来校していただいた継続的な進路活動が、地元就職の魅力を認知させる結果となったのではないかと分析している。参考に11月に実施した現1・2年生の年度2回目の進路希望調査の結果を掲載している。2学年時においても、現3学年と同様就職志向の高い傾向が伺え、進学の希望割合が就職希望の約半分という結果になっている。1学年は例年通りの傾向であるが、2学年よりは進学希望者が多くなっている。」

6 学校の様子

青木教頭：「主に写真をもとに学校の様子を説明させていただく。10月末には那珂川町議会において“高校生との意見交換会”を行っている。11月中旬には馬頭中学校に伺い、給食を中学生と一緒に食べさせていただく機会ができた。11月下旬には馬頭中学校と連携を取り、町内の美化活動を実施した。12月には県水産試験場のご協力でヤシオマスの産卵実習を行うことができた。同じく12月には地元企業様をお招きし、キャリア教育を行い、アユのオイル煮という実習製品を用いたピザを製造し、また移動販売のノウハウについてご教授いただいた。同じ日の午後、町興し協力隊の須藤さまのご協力により魚醤のレシピ開発に取り組ませていただいた。最後になるが“広報なかがわ”において本校を取り上げていただいたものを掲載させていただいた。」

7 グループ討議

- ・3つの班に分かれて実施
- ・テーマは「馬頭高校への支援について」

【第1班まとめ】

- ・HITOTEMAのスペースの利活用、特に大学生との交流による付加価値の創出
- ・「農業」の野菜の提供は継続されたい
- ・地域連携活動発表会において小、中学生の発表も復活したい
- ・水産試験場で卒業生の採用ができるよう情報発信を行いたい

【第2班まとめ】

- ・デマンドタクシーの積極的な利活用に向けた周知を深めるとともに実際の運用時間の柔軟な対応の検討を行いたい
- ・学校が地域に求めるものの情報交換の必要性

- ・小中学校との連携を深めたい

【第3班まとめ】

- ・インフラ整備、特に交通の利便性を高めたい。デマンド交通の運用範囲の拡大の検討など。
- ・下宿、住む場所の確保が最大のテーマ。何とか開拓していきたい。
- ・小中学生が少なくなっている中で保護者をターゲットにした PR 活動を進めていく必要性があるのではないか。
- ・地元に着定するための地域自体の活性化が重要である。
- ・町の社会福祉協議会において、介護、看護に従事する生徒の採用を促進したい。
- ・通学費補助金についてはご批判もある中で今後もぜひ継続していきたい。
- ・本校生の学校外における多様な活動の支援として、デマンド交通などの交通機関の利用を進めていただければありがたい。
- ・規模の小さな町なので、外部から人を招くことを進めたい。

若園議長：短い時間だが、活発な討議ができた。この内容を記録し、実践できるアイデアを押し進めていくとともに来年度の運営協議会の活動につなげていきたい。そういった活動を続けていくことで具現化できるのではないかと考える。継続していきたい。引き続き、皆様のご協力をお願いし、まとめとしたい。

8 その他

第4回学校運営協議会日程について

青木教頭：説明

- ・第4回の運営協議会は地域連携活動発表会となる。
- ・会議としての参集は今回が最後となる。ご支援に感謝したい。役職交代をされる方は引継ぎをお願いしたい。

9 閉 会